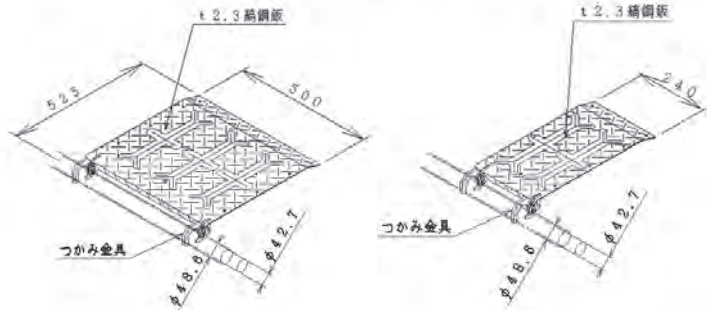
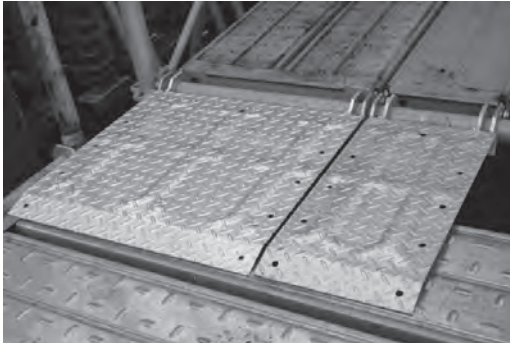


<<< 従来品と比較して25%軽量化 & 枠組・次世代・単管足場に対応 >>>

NEW 軽量コーナーステップ



特徴

- (1) 枠組足場のコーナーの隙間に使用する縞鋼板製足場板で、ほぼフラットな作業床が構成されます。
つかみ金具の改良を行い **φ48.6およびφ42.7の単管パイプに使用可能です!**
- (2) 板厚3.2mm(従来品) → 2.3mmに薄くして **約25%の軽量化が実現しました!**

FP-505A【従来品】7.4kg→FP-505C【軽量型】5.5kg FP-205A【従来品】4.0kg→FP-205C【軽量型】2.96kg

板厚を薄くしても **特殊な形状のリブ加工を施している** ので、許容荷重は従来品と同等です。

- (3) 横架材(単管パイプ)中心から約80~400mmの範囲で使用可能です。(図-1参照)※直線部除く
- (4) 製品を設置した時、横架材(単管パイプ)との離れが30mm以下になる様にしています。(図-1参照)
※ 2017年4月現在、横架材との離れに関する法令化はありません。ただし弊社独自の基準と
安衛法563条2項の隙間に関する法令に倣い、設置した時の離れを30mm以下になる様に設計しています。

注意

- (1) 使用する場合には、つかみ金具の吹き上げ防止リンクが確実に効いている事を確認して下さい。
テール部(縞鋼板部)にある穴を利用して番線固定を行い、吹き上げ防止の措置を行って下さい。
- (2) 安衛法第563条2項に基づき、製品を2枚並べて設置する時の隙間は30mm以下にして下さい。(図-1参照)
- (3) 掛け渡す隙間寸法によって許容荷重が異なりますので注意して下さい。最大隙間寸法は400mmです。
- (4) 直線部で使用の場合、横架材(単管パイプ)と干渉しますので脚柱間は100mm以上にして下さい。(図-2参照)
※ 脚柱をクランプで結合するコーナー部は、おおよそ70mmの隙間が生じますが設置は可能です。(図-1参照)

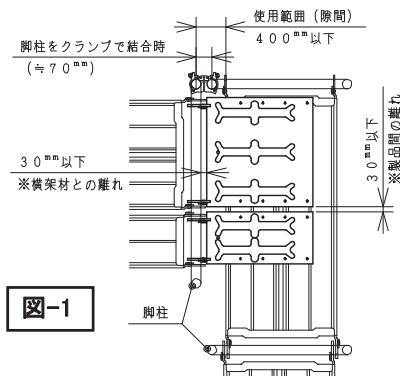


図-1

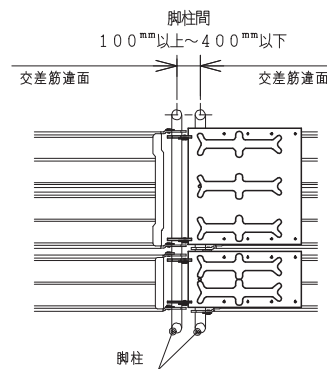


図-2

| 型式 | 適用 | 重量 | 使用間隔(隙間寸法) | 許容荷重 |
|---------|----------------------------|--------|-----------------|----------------|
| FP-505C | メートル・インチ兼用 | 5.5kg | 80(MIN)~300mm | 2450N (250kg) |
| | | | 301~400mm (MAX) | 1470N (150kg) |
| FP-205C | つかみ金具 φ42.7・φ48.6 対応 | 2.96kg | 80(MIN)~300mm | 1715N (175kg) |
| | | | 301~400mm (MAX) | 882N (90kg) 注1 |

注1: 単品使用の場合、許容荷重に御注意下さい